



令和3年度 清水小学校だより

令和4年2月3日発行

清水の子

文責 校長 沖島 宏幸

しっかり考える子 ・ 自らよく行う子 ・ すこやかな子



節目の話



今日2月3日は「節分」、そして明日は「立春」です。この時期、季節の移ろいに鈍感になりがちですが、どこからか漂ってくるすがすがしい紅梅の香りが寒風の中で春の近さを感じさせてくれますし、伝統的な行事からも春の訪れを感じることができます。

立春をはじめとして、カレンダーには季節の移り変わりに関係のあることばをいくつも見つけることができます。

日本には春・夏・秋・冬という四季があります。これは、その四季に応じて目に見えない時間というものに、目に見える形で節目をつけ、その時々気持ちを入れ替えて頑張ろうという素晴らしい日本人の知恵です。4つの季節ひとつずつをさらに6つに分けて4×6で24の細かい季節をつくったのが皆さんもご承知の「24節季」です。

このように、1年間という長い時間の中に、節目をつくり、節目節目でちょっと立ち止まるようにしたのです。これによって、普段何気なく時間を過ごしてしまい、気がいたら1年が経っていたなどということがないようにしたのではないのでしょうか。

竹にも節目があり、節目があることによって強くしなやかに育つことができます。人の身体にも関節という節目があることで、思い通りに動くことができます。

豆まきで心の中に巣くう鬼退治をすることと同時に、立春という節目を期に、また気持ちを入れ替え1年の終了に向かって頑張ろうという気持ちを高めたいと思います。

保護者の皆様、そして地域の皆様、これまで同様、本校の教育活動に対しまして、ご理解とご協力の程、よろしくお願いいたします。

◎お知らせ 新型コロナウイルス感染拡大のため、残念ながら、授業参観・懇談等いろいろなことが中止となっています。どうかご理解ください。

◎お願い 体罰調査、提出率100%を目指しています。〆切は2月8日(火)です。

◎お詫びと訂正 前号の「**うれしいですね、がんばっている子どもたち**—子どもたちの校外での活躍—」の一部に誤りがありました。お詫びいたします。
「読書活動コンクール」 読書感想画の部 優秀賞 ○元 ○樹(3年2組)